

別記第1号様式(第7関係)

会 議 録

附属機関又は 会議体の名称		第七期第2回豊島区生涯学習推進協議会小委員会
事務局(担当課)		文化商工部学習・スポーツ課
開催日時		令和5年7月10日(月)10時~12時
開催場所		庁舎内7階文化商工部会議室
議 題		7月27日の第3回生涯学習推進協議会にむけて、評価を測るためにはどのような話し合いとなればよいのか。
公開の 可否	会 議	<input type="checkbox"/> 公開 <input checked="" type="checkbox"/> 非公開 <input type="checkbox"/> 一部非公開 傍聴人数 人
		非公開・一部非公開の場合は、その理由 各委員の感想及び意見を忌憚なく発言していただくため。
	会 議 録	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 非公開 <input type="checkbox"/> 一部非公開
		非公開・一部非公開の場合は、その理由
出席者	委 員	高井正(会長)、中上亜樹(副会長)、齋藤知明
	そ の 他	
	事 務 局	学習担当係長(生涯学習)兼社会教育主事、生涯学習指導員

1. 大学の評価と社会教育の評価

大学：授業アンケートが実施されており、学生も教員（講師）も評価する側、される側。教員はアンケート結果をどのように受け止めたかを明らかにし、改善策を記載する。

社会教育：多様な評価…講師、学習者、講座の企画担当など、それぞれが評価の主体であることから、重層的な評価が可能であることが特色だか、あまり実施されてはいない。

2. 『豊島区生涯学習推進ビジョン』から

P16～18 施策の体系図…行政評価的なもの

P20～25 としま学びスタイルの実現に向けて…質的評価に近い

P20～25 取組み1～3

P20 としま学びスタイルの担い手を増やし広げる

どういう学びが継続しているのか

【ブックカフェ】

- ・日常的な居場所として何が生まれたのか、何が課題なのか、コーディネーター自身の変化や力量形成などの質的評価がもとめられるのではないか。
- ・サポートを受けた当事者が、一連の流れをふり返ることで、やりたいことを実現するための企画から実施まで、サポートの流れも評価できるのではないか。

P22 学んだ成果を発信する機会を広げる

団体や組織の学びを、数年間のスパンでふり返ることで、活動や取り組み、自身の変化を語ることで質的な評価が可能になるのではないか。

P24 多様なネットワークを重ねて広げる

学習者の振り返りと学習者の評価、講師側の振り返りと評価、これらに企画担当者の評価を重ね合わせることで、見えてくることがあるまでではないか。

取組み1～3の6つの項目について

評価の主体は学習者自身。評価の精度や客観性を高めていくために、関係者によるインタビューが必要ではないか。

6つの項目に、6人の事例を挙げて、自身に学びの振り返りを書いてもらうのはどうか・・・①

3. 3月27日に行われた第2回豊島区生涯学習推進協議会での意見から

「(としまコミュニティ大学で学ぶ) マナビト生の学びとして、講座へ行き評価を実践してみる。」について・・・②

評価する営み自体が学習となる可能性があり、振り返る機会にもなる。

- ・評価は選択と記述方式にする。
- ・観点を統一する

①と②の2つの方法で評価するのはどうか

4. 【第3回豊島区生涯学習推進協議会】開催に向けて
『豊島区生涯学習推進ビジョン』第2章、第3章から考えられる指標について、どのような質問事項がよいのかを委員から意見をもらう。
出た意見は事務局でまとめ、会議開催前に共有する。

<p>会議の結果</p>	<p>2つの方法で評価してみるのはどうか。</p> <p>①質的評価に近いもの 『豊島区生涯学習推進ビジョン』P20～25に「ある取り組み1～3の6つの項目にあてはまる事例を挙げ、6人に書いてもらう。</p> <p>②評価であり、学習や振り返りの機会となるもの マナビト生の学びとして講座へ行き、評価を実践してみる。</p> <p>指標についての質問事項を各委員が意見を出し、第3回豊島区生涯学習推進協議会の開催前に意見を共有する。</p>
<p>提出された資料等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・第2回豊島区生涯学習推進協議会報告書 ・としま学びスタイル Vol. 4～7 ・図書館通信 68号 ・心理学ゼミ R4年度最終回ふりかえりのまとめ